

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330331056	保育内容総論 Study of contents for care and education	田村 佳世	✓		2	必修	3前期

科目の概要

DP1、3、5に則って、4大精神を実践しながら、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付け、社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けた保育者の育成を目指す。
 保育における具体的な指導においては、10年間の保育所保育士として働いた経験を活かし、保育における具体的な場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。特にこの科目では、子どもの生活の質の向上、子育て家族の福祉に貢献するための知識及び技能を身に着けるために、保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容を学びます。さらに保育の歴史の変遷から現在の保育をとりまく社会的課題、ニーズを知り、子どもの発達や生活に即した保育内容の基本的な考え方を身に着けます。

学修内容	到達目標
① 保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。 ② 保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 ③ 子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげる。 ④ 保育の多様な展開について具体的に理解する。	① 保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容の理解、子どもの発達や生活に即した保育の内容の基本的な考え方の理解を踏まえて実践に活かせるようになる。 ② 保育の基本を踏まえた保育内容の展開、保育の基本的な考え方の理解を踏まえて実践に活かせるようになる。 ③ 歴史の変遷とその社会的背景を理解し、現代の適切な保育について考えられる。 ④ 保育の多様な展開長時間の保育、特別な配慮を要する子どもの保育、多文化共生の保育について理解し適切な保育について考えられる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	履修済みの科目、実習、文献、インターネットなどを活用して、広く具体的な情報を得るために、粘り強く、強い意志をもって取り組み続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業内容や発表における疑問点や自分に不足している知識または技能を認識して、情報収集や分析を行ったり、課題を明らかにするために他者の意見を積極的に求めたりすることができる。
	計画力	
	創造力	授業において修得した知識および技能をもとに、実習や保育者としての自分の姿を想定して、新たな保育観や保育方法を考えたり、探求することができる。
チームで働く力	発信力	授業の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことをノートや指導案に記述（図表含む）することができ、相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に理解して話す、発表することができる。
	傾聴力	グループワーク等を通して学生間で意見交換をし、相手の意見を正確に理解したり、疑問について質問をしたりすることができる。また相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコメントができたり、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「保育内容総論 乳幼児の生活文化」ミネルヴァ書房
 参考書：「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「保育内容総論」は「保育の内容・方法に関する科目」で、「保育の計画と評価」「子どもの健康Ⅱ」から「幼児教育指導法」等に関連する科目である。
 資格との関連：保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
・予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・知識や技術の修得を目的にすることなく、自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。	・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。欠席時は必ずメールにてその旨を担当教員に連絡を入れる。 ・授業の内容は状況に応じて順序が入れ替わることがあるため、classroomの授業資料、連絡をよく確認しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	50	①	✓			(獲得) 課題テーマに関する授業内容の理解 (20%) (活用) 課題テーマに関する発表内容の理解 (40%) (解決) 課題テーマに関する学びの活用に関する提案 (40%)
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓			(獲得) 保育の多様な展開の基礎知識の理解 (20%) (活用) 保育の多様な展開の具体的な保育方法理解 (40%) (解決) 保育の多様な展開の課題理解と新たな改善提案 (40%)
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) 予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 (実行力) 困難があっても、粘り強く、強い意志をもって最後までやり切ることができる。 (課題発見力) 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を明確にすることができる。 (創造力) 課題に対して固定概念にとらわれることなく、既習内容などから総合的に考えることができる。 (発信力) 具体例を用いて相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に整理して話す、発表することができる。 (傾聴力) 相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコミュニケーションができ、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。 (規律性) 授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S (秀) ・総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を的確に理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学びを深めることができる。 ・発表に関しては仲間と分担、協力して意欲的かつ具体的に準備、発表、学びの共有ができる。 ・レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で具体的に表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。 A (優) ・総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら計画的かつ意欲的に学ぶことができる。 ・発表に関しては仲間と分担、協力して準備、発表、学びの共有ができる。 ・レポートではテーマに沿った内容を、自分の言葉で表現でき、授業内容を踏まえた新たな提案ができる。	B (良) ・総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を理解したり、教員に確認しながら学ぶことができる。 ・発表に関しては自分の担当内容を理解し意欲的に発表ができる。 ・レポートではテーマに沿った内容を、授業内容を踏まえてまとめることができる。 C (可) ・総合的な学修態度として、課題に対して必要な資料を参考にしたり、教員に確認しながら学ぶことができる。 ・発表に関しては自分の担当内容を理解し発表ができる。 ・レポートではテーマに沿った内容をまとめることができる。 ・その他：Dの再評価（再提出含む）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	「オリエンテーション」 ・保育者の役割を概観し、保育の基本や内容を学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	どんな保育者を目指しているのか具体的に発表することができる。	（予習）保育者を指すきっかけについて自分の意見をまとめる。 （復習）発表を聞いてワークシートをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「保育内容とは」 ・保育の基本的な考え方、保育ニーズについて学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	保育の基本的な考え方、視点、社会的ニーズについて具体的に理解している。	（予習）教科書第1章レッスン1「保育の基本と保育内容」を読んで概要を理解する。 （復習）「保育ニーズ」についてノートをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「幼稚園・保育所・認定こども園の役割と保育内容」 ・幼稚園、保育所、認定こども園それぞれの役割と保育内容の特徴、共通点、違いについて学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	幼稚園、保育所、認定こども園それぞれの役割と保育内容の特徴、共通点、違いについて理解している。	（予習）教科書第1章レッスン2「幼稚園教育要領・保育所保育指針等の保育内容」を読んで概要を理解する。 （復習）「保育所、幼稚園、認定こども園の特徴」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「保育の歴史の変遷」 ・日本の幼児教育、保育の成り立ち、歴史の変遷、社会的ニーズの変化について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	日本の幼児教育、保育の成り立ち、歴史の変遷、社会的ニーズの変化について理解している。	（予習）教科書第2章レッスン3「保育内容の歴史の変遷」を読んで概要を理解する。 （復習）「保育内容の歴史の変遷とニーズ」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「保育内容と子ども理解」 ・子どもの発達特性と保育内容5領域の総合性について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	子どもの発達特性と保育内容5領域の総合性について理解している。	（予習）教科書第3章レッスン5「子どもの発達特性と保育内容の総合性」を読んで概要を理解する。 （復習）「子どもの発達特性と保育内容5領域の総合性」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「乳児の発達と保育内容」 ・乳児の発達過程と保育の留意点、社会的ニーズ、保育の課題について学ぶ。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	乳児の発達過程と保育の留意点、社会的ニーズ、保育の課題について理解している。	（予習）教科書第5章レッスン12「乳児の発達と保育内容」を読んで概要を理解する。 （復習）「乳児保育の課題」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「保育内容の展開1（乳幼児の生活）」 ・乳幼児の保育の場での生活の流れ、保育の留意点について学ぶ。	演習 グループワーク（発表準備） classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	乳幼児の保育の場での生活の流れ、保育の留意点について理解している。	（予習）教科書第4章レッスン7「生活や発達の連続性と保育内容」、レッスン9「遊びから学びへ」を読んで概要を理解する。 （復習）「乳幼児の生活と保育の留意点」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「保育内容の展開2（乳幼児の遊び）」 ・乳幼児の保育の場での遊びの特徴、保育の留意点について学ぶ。	演習 グループワーク（発表準備） classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	乳幼児の保育の場での遊びの特徴、保育の留意点について理解している。	（予習）教科書第2章レッスン4「教材文化と保育内容」、第4章レッスン8「環境を通じた保育」を読んで概要を理解する。 （復習）「保育の遊びの特徴と留意点」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	「保育内容の展開3 (保育の接続)」 ・乳児保育から幼児保育への接続および、就学への接続について保育の留意点を学ぶ。	演習 グループワーク（発表準備） classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	乳児保育から幼児保育への接続および、就学への接続について保育の留意点を理解している。	（予習）教科書第4章レッスン7「生活や発達の連続性と保育内容」、レッスン11「家庭・地域・小学校との連携」を読んで概要を理解する。 （復習）「就学への接続に関する留意点」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「保育内容の展開4 (異年齢保育)」 ・保育の多様な展開として異年齢保育の特徴、保育の留意点について学ぶ。	演習 グループワーク（発表準備） classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	保育の多様な展開として異年齢保育の特徴、保育の留意点にて理解している。	（予習）教科書第5章レッスン13「長時間保育のありかた」を読んで概要を理解する。 （復習）「異年齢保育の留意点」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「保育内容の展開5 (グループ発表)」 ・保育の多様な展開として発表テーマの保育の特徴、保育の留意点についての学びをグループ内で発表する。	演習 グループワーク（発表） classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	保育の多様な展開として長時間保育の特徴、保育の留意点について理解している。	（予習）教科書第5章レッスン13「長時間保育のありかた」を読んで概要を理解する。 （復習）「長時間保育の留意点」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「保育内容の展開6 (テーマ別グループ発表)」 ・保育の多様な展開として各保育の特徴、保育の留意点についての学びを発表する。	演習 グループワーク（発表） classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	保育の多様な展開として特別な支援を必要とする子どもの保育の特徴、保育の留意点について理解している。	（予習）教科書第5章レッスン14「特別な支援を必要とする子どもの保育内容」を読んで概要を理解する。 （復習）「特別な支援を必要とする子どもの保育の留意点」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「保育内容の展開7 (学びの共有)」 ・保育の多様な展開として各保育の特徴、保育の留意点についての学びを共有する。	演習 グループワーク（発表） classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	保育の多様な展開として園の行事に関する保育の特徴、保育の留意点について理解している。	（予習）教科書第4章レッスン10「保育内容横断としてのESD」を読んで概要を理解する。 （復習）「園の行事の留意点」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「不適切な保育を考える」 ・classroomに提示される資料を視聴し、『不適切な保育』が起こった背景から保育者が置かれている現状、「子ども主体の保育」への展望について考える。	オンデマンド オープンエデュケーション https://hoiku-is.jp/seminar/movie/7/classroom 「課題」にてフィードバックを送信	これからの社会に求められる保育、未来の子どもに必要な保育内容について自分の意見を持ち、課題が提出できる。	（予習）これからの社会に求められる保育について自分の意見をまとめておく。 （復習）授業での内容を踏まえて「未来の子どもに必要な保育内容」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「子ども主体の保育実践検討」 ・子どもの主体性を尊重する保育実践を視聴し、意見交換を行い理解を深める。	演習 グループワーク classroomに授業資料を共有（反転授業） classroom「課題」にてフィードバックを送信	これからの社会に求められる保育、未来の子どもに必要な保育内容について自分の意見を持ち、課題が提出できる。	（予習）子ども主体の保育について自分の意見をまとめておく。 （復習）授業での内容を踏まえて「子ども主体の保育」について要点をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力